

# タルイピアセンター

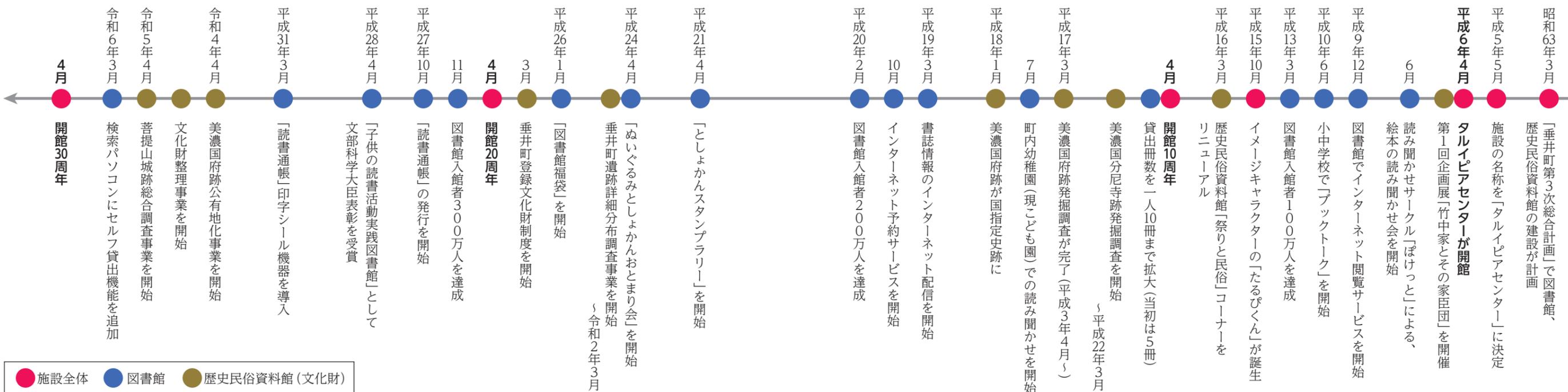
## 30年のあゆみ



書館、歴史民俗資料館、歴史文献センターの文化複合施設として愛され利用されてきたタルイピアセンター。平成6年4月29日に開館し、今年で30周年を迎えました。これまで行ってきた事業を紹介し、30年間の歴史を振り返ります。



開館から30周年を迎えたタルイピアセンター



開館当初の図書館カウンター

**まもなく図書館入館者は400万人**

平成13年に100万人、平成20年に200万人、平成26年に300万人の入館者を達成してきたタルイピアセンター図書館。令和6年6月末時点では約395万人となり、まもなく400万人を超えようとしています。

開館当初は年間15万人、1日あたり500冊の本が貸し出されていました。当初は3万6千冊だった蔵書は、現在では10万冊以上となっています。



▲たるびくん

**「たるびくん」が誕生**

開館10周年を記念して作成されたイメージキャラクター「たるびくん」は、293点の応募の中から選ばれました。

垂井宿にちなんで、江戸時代の人をイメージしたちょんまげ姿がトレードマーク。本が好きで、物知ります。



▲竣工式で行われたテープカット

**コンセプトは「楽しみ上手な文化人」**

生涯学習の場として大いに活用されることで、訪れるみなさんが生き生きとした「楽しみ上手な文化人」となるようにとの願いが込められています。

垂井町合併70周年  
タライピアセンター開館30周年記念事業  
「清流の国ぎふ」文化祭2024事業

絵本作家講演会  
「みやにしたつや先生」に学ぶ



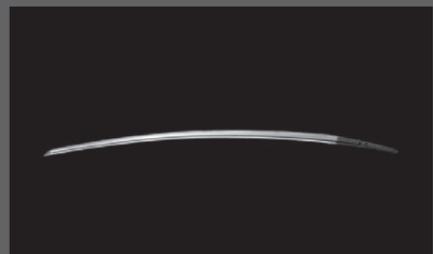
▶と き/10月19日(土) 午後1時～4時  
▶ところ/ワイワイプラザ垂井 ワイワイホール  
▶定員/200人(抽選)  
▶申込方法/往復はがきによる。  
QRコードからご確認ください。  
8月20日(火)まで ※消印有効



詳細は  
こちら

垂井町合併70周年  
タライピアセンター開館30周年記念事業  
「清流の国ぎふ」文化祭2024事業

第59回企画展「垂井と刀剣の世界Ⅱ」



太刀銘二条(国重要文化財)

垂井町にゆかりのある国・県指定の刀剣を  
多数展示する企画展を開催します。

▶と き/前期10月5日(土)～11月4日(月・休)  
後期11月6日(水)～12月8日(日)  
▶ところ/タライピアセンター歴史民俗資料館

問 タライピアセンター  
☎23-3746



タライピアセンター  
ホームページ

学芸員に聞いてみた！ 思い出の企画展

私の思い出に残る企画展は、令和元年に開催した「南宮山攻防戦！垂井と関ヶ原合戦」です。この企画では、関ヶ原合戦をダイナミックに感じていただくため、全国から選りすぐりの資料をタライピアセンターへ集めました。南宮山に陣取った毛利氏や、竹中氏とゆかりの深い黒田氏の資料調査のため、山口県や福岡県などを訪れ、甲冑や肖像画などの貴重な資料を借り受け、展示することができました。長浜市平塚町自治会からは、平塚為広の肖像画をお借りしましたが、この展示がきっかけとなり、その肖像画を垂井町へ寄贈いただきました。  
学芸員 亀田 剛広



ずっともっと愛される施設でありたい



タライピアセンターはあなたの「見たい・読みたい・調べたい」を応援します

歴史・文化情報の発信基地として、また、生涯学習の先駆的な支援機関のひとつとして設置したタライピアセンターは、みなさんの利用のもと、無事に30周年を迎えることができました。インターネットの普及やスマートフォンの利用増加などの情報化が進展する社会の中で、タライピアセンターに足を運んでいただいたことは、本や地域の文化・歴史に親しむという建設当初からの町の願いでしたので大変うれしく思っています。タライピアセンターには子どもたちを笑顔にする絵本や、みなさんの人生を豊かにする多くのきっかけやヒントがあります。ぜひ、歴史民俗資料館で温故知新を感じ、図書館であなたのお気に入りの一冊を見つけてください。



タライピアセンター館長  
酒井 幹史

もっと本を好きになってほしい  
図書館では、本好きになってもらうための数々の企画を行っています。特に、毎週土曜日に行う「ぼけっと」や図書館司書による絵本の読み聞かせ会、小中学校で本の紹介を行う「ブックトーク」は、20年以上続いている取組です。  
また、こども園を訪問しての読み聞かせや、利用者が本を借りてポイントを集める「図書館スタンプラリー」、お正月限定の「図書館福袋」も持っているお気に入りのぬいぐるみに、図書館に泊まってもらう「ぬいぐるみとしょかんおとまり会」なども行っています。  
“もっと本を好きになってほしい”そんな願いからの取組です。



▲読み聞かせサークル「ぼけっと」による読み聞かせ

貴重な出土品などを整理

発掘調査で見つかった土器や、旧家から寄贈いただいた古文書など、さまざまな資料があります。これらの資料を展示や研究などで活用するため、汚れを落としたり、いつ頃のものか、どこで見つけたのかなどを分けるようにする整理作業を行っています。



▲出土品の整理作業



▲小学生へのブックトーク

企画展を振り返る

歴

史民俗資料館では、企画展「竹中家とその家臣団」を皮切りに、これまで58回にわたって企画展を開催してきました。過去に行った企画展の一部を振り返ります。

第8回 なつかしの少年・少女時代  
消えゆく昭和の情景 (H8.7.20～9.22)



昭和30年代をイメージして、駄菓子屋や当時の生活空間をまるごと復元した展示を行いました。翌年には店舗を再現した展示を行いました。

第6回 日本近代洋画の指導者  
長原孝太郎 (H7.10.14～12.3)



タライピアセンター初の美術展。長原孝太郎ゆかりの作品を多数所蔵されている美術館から貴重な作品をお借りしました。

第3回 明治近代国家の推進者  
神田孝平 (H6.10.15～12.4)



垂井町の歴史上の人物で、最も日本の歴史に影響を与えた人です。この展示をきっかけに、地元の岩手に顕彰碑が建ち、顕彰祭が行われるようになりました。

第53回 明治改元150年神仏分離を乗り越えた寺院  
真禅院本地堂の秘宝 (H30.7.21～9.23)



真禅院本地堂の修理事業の完成を記念して開催しました。

第42回 広重・英泉流  
木曾街道の歩き方 (H20.10.4～11.24)



広重・英泉の木曾街道六拾九次の浮世絵を展示しました。タライピアセンター企画展図録では、一番売れている図録です。

第25回 垂井の古墳  
先人たちの祈りと祀り (H14.4.13～6.9)



町内の古墳から出土し、現在、東京国立博物館の所蔵品となっている貴重な石製品を垂井町で初めて展示することができました。

過去の企画展の図録も販売しています！常設展もあるので、ぜひお越しください！



学芸企画係長  
原田 義久